

資料

「大村はま国語教室」における読書指導の軌跡

1968年度卒業生の学習記録に基づく調査研究

甲斐雄一郎

1 調査目的

大村はま氏が読書指導を研究テーマとして継続的な授業に取り組んだのは、1966年度から1970年度にかけてのことである。この間に行われた数十回に及ぶ多様な授業の多くは、その概略が『大村はま国語教室』（以下、全集）第8巻「読書生活指導の実際（二）」に掲載されている^①。本資料は、このうち1968年度卒業生が在学中の三年間に体験した「単元『読書』」の学習内容を時系列に配列することによって、この単元の位置、系統を検討するための基礎資料としようとしたものである。

この作業によって以下の二つのねらいが達成される可能性が期待される。

一つは単元における諸活動相互の関連、系統と国語学習の時間における他の領域の指導との関連を見出すことである。単元「読書」は、読むことはもとより、書くこと、話すこと・聞くことが総合的に折り込まれて遂行されている。したがってこれら諸活動と教科書教材を読むこと、読書生活記録の作成と書くこと、読書会と話すこと・聞くこと、等、それぞれの関連のあり方について明らかにすることは、当時に比べて授業時数が実質的には約3割減となった今日の国語科における読書指導を構想するうえでの手がかりになると考えられる。

もう一つは読書指導を重視したとされる1969年版学習指導要領をめぐる新たな解釈の提出である。「単元『読書』」は1958年版の学習指導要領下で実践されたものであった。この指導要領中の指導事項の多くは大村氏の「単元『読書』」において踏まえられ、大村氏自身も作成に関わった1969年版学習指導要領に引き継がれている。したがってこの単元は60年代から70年代にかけての読書指導史の資料としてのみならず、とくに1969年版学習指導要領における指導事項を再評価する契機となるだろう。

2 調査資料

学習内容に関する主たる資料として、この三年間にわたって毎週ほぼ継続的に刊行された「国語教室通信」に掲載された学級別授業計画によることにし、鳴門教育大学附属図書館大村はま文庫所蔵の学習記録、読書生活記録、そして全集所収の大村氏自身の記録によって補足した。

この間のすべての期間にわたる学習記録が比較的多く残されており、また各学年において授業の対象教室となったという条件で、一年次はA組、二年次はE組、三年次もE組の記録によった。ただし一年次において補足が可能であったのは「全集」8巻の「昭和四十一年度 単元『読

書』(二十時間)指導のあらまし」にとどまる^㉞。二年次においては4月8日(第1回)から12月6日(第120回)までを学習記録, 1月22日(第139回)から2月17日(第158回)までは読書生活記録によって補足した。三年次については4月26日(第12回)から7月16日(第57回)の一部と7月1日(第49回)から12月2日(第111回)までの学習指導内容を学習記録によって補足した。複数の記録をつきあわせても判明しなかった回の内容については空欄としている。

3 資料の構成

表は、学年ごとの授業回によって配列し、その回の日付、単元名、学習内容、そして週単位で配布される「国語教室通信」の記載事項(読書生活等に関わる指示、放送教材の題材等)、またその週に行われた研究授業等の内容で構成した。

単元名は「国語教室通信」等に記載されたものを主に用いた。この三年間、大村氏の勤務校であった大田区立石川台中学校で採用していた教科書は光村図書出版のものであった。この教科書に即して実践された単元は※を付して示した。

なお単元「読書」は東京教育大学の内地留学生を迎える月例実践研究授業でもあった。このため「月々の学習は、一まとまりずつ離れていながら、全体として『単元 読書』であった」という。この事情を大村氏は次のように述べている^㉟。

年間、一つの読書指導の単元を一単元として、月に二、三時間ずつを予定し、その日取りは一定せず、月間のどこかにはさむことにした。読書指導以外の単元の学習を進めながら、大学側の都合で日取りが決まると、そのとき学習していることを中断して、そこにその月の読書指導の二、三時間を設けた。

このように継続中の単元を中断して行われた場合は、読書単元を二列めに表示することにした。

(参考) 単元「読書」の構成、およびそのねらい

「単元『読書』」を構成する授業には、以下のように①から⑩までの番号を付した。

1 年次 1 学期 ①準備

- ①読書の楽しみ
- ②感想を育てる
- ③夏休みの読書計画

2 学期 ④夏休みの読書日記から・二学期の読書計画

- ⑤感想を育てる
- ⑥目次索引の活用

3 学期 ⑦目次・はしがき等を利用して本を探す・感想を育てる

- ⑧もっといろいろな本を

2 年次 1 学期 ⑨読書への関心・読書論を読む・読書ノート

- ⑩目的によって適切な本を選ぶ(本を探す・選ぶ)

- ⑪本で本を読む（１）
- ⑫いろいろな本の活用
- 2 学期 ⑬読書生活の記録・本を使って問題を解決する
- ⑭書くために読む・読書論を読み、読書生活を考える
- ⑮本で本を読む（２）・本へのいろいろの親しみ方
- 3 学期 ⑯読書会 A・読書会 B・読書会 C
- ⑰互いの読書生活の記録によって学ぶ・感想文集を読み合う
- 3 年次 1 学期 ⑱読書について識見を高める
- ⑲批判的に読む（１）・主体的に読む
- ⑳批判的に読む（２）・問題に対しての意見を求めて読む
- 2 学期 ㉑読書論を読む 識見を確かめる（読書について考える）
- ㉒読書論を読む 識見を高める（読書について考える）
- ㉓読んで作るクイズ 読みを誘うクイズ（八 読みを誘う）

大村氏は五年間に及んだ単元「読書」について、その内容を「おりおりの読書指導」の他に次の八種に分類している⁽⁴⁾。大村氏によれば「全集」第 8 巻「読書生活指導の実際（二）」第 II 部を構成するにあたって「説明の重複を避けるため」の便宜によるものであるが、これらをわれわれは読書生活指導の観点として考えることができるだろう。これらの項目に先の⑩～㉓を割り当てるならば以下ようになる。

- 一 読書について考える —— ④・⑭・⑱・⑲・㉑・㉒・㉓
- 二 本を探す・選ぶ —— ⑦・⑩
- 三 読書の技術 —— ⑥・⑪・⑮
- 四 本の活用 —— ⑫・⑬・⑭
- 五 感想を育てる —— ②・⑤・⑦・⑰
- 六 読書生活の記録 —— ⑬
- 七 読書会 —— ⑯
- 八 読みを誘う —— ㉓
- 付 おりおりの読書指導 —— ⑩・③

注

- (1) 『大村はま国語教室』巻 8 「読書生活指導の実際（二）」1984 年、筑摩書房
- (2) 「昭和四十一年度 単元『読書』（二十時間）指導のあらまし」（前掲書）24-30 頁
- (3) 「帯単元『読書』の指導について」（前掲書）13-14 頁
- (4) 同上、14-15 頁

66年度1年A組		学習内容	通信・その他
408	1	一、自己紹介(目的・注意)	
411	2	学習準備(書き取り・ノート調べ)	1 記録の準備
412	3	学習準備(自己紹介)	(放送)「一年生のことばと生活」
413	4	学習準備(自己紹介、教科書の内容・活用法)	文学とは何か
414	5	放送・自己紹介	
418	7	学習記録調べ・自己紹介	2 記録の確認
419	8	自己紹介・調査	(放送)「自己紹介」
420	9	小テスト	ビョルンソン「日向丘の少女」
10-11欠			
425	12	一、調査 二、テストの始末 三、教科書について 四、語句のてびき	3 学習記録しらべ・読書相談 (放送)応答のしかた
426	13	※一、はっきりとしたものの言い方	
427	14	一、辞書のいろいろ	4 記録確認
428	15	二、的確な応答	(放送)聞くことのたいせつさ
502	15	一、練習「問いにあった答え」	ルメートル「鐘」
509	16	新しい目・プリント	
510	17	作文題材・放送 クラブ・期待 語句準備	5 プリント確認 (放送)確実な聞き取り ヘッセ「少年の日の思い出」
511	18	読 読書日記 書 語句1(学習の進め方)	
512	19	① 作文の題材集め	
513	20	語句2(短文作り)	
516	21	語句3(グループで調べる)	
517	22	語句3つづき・放送	6 読書日記・作文題材 プリント確認
518	23	語句4(発表のしかた・司会の役目) 語句5・発表会(語句の使い方)123	(放送)話し合いと会議 周はじめ「牧場の四季」
519	24	「この本読みませんか」本の紹介(指導者) 読「読んだ本」「読んでいる本」について発表しあい、話し合う 書 読みたい本の整理 ① 話し合いはこんなふうに	5月20日 研究授業
520	25	読書(同上)	
523	26	テストについて・発表345	7 記録確認・ 読書日記・プリント確認
524	27	発表6789	(放送)話し合いと会議(2)
525	28	発表10・11・まとめ	
526	29	テスト	
530	30	談話(中学生と作文・題材を持つことの尊さ) 題材の発表 「作文にそえて」の書き方	8 記録のまとめ プリント確認 (放送)話し合いと会議(3)
531	31	作文を書く	シュトルム「みずうみ」
601	32	作文	
602	33	テスト批評	
603	34	スピーチ・放送	
606	35	記録とじる	9 記録提出指示・プリント確認
607	36	読む楽しみ1(「片耳の大しか」を読む)	(放送)司会のしかた
608	37	読む楽しみ2	宮沢賢治「貝の火」
609	38	読む楽しみ3	
610	39	放送	
613	40	1本の紹介(指導者) 読書 2本の紹介(各グループから話し合いの形で) 3話し合い「肥後の石工」を読んだ生徒によって ② 4「読んだ本・読んでいる本、五行感想集」によって発表 5「私の読んだ本」五行感想に書き継ぐ	10 二冊目の学習記録指示 (放送)正しい発音 マンズフィールド「園遊会」
614	41	読む楽しみ5	6月13日 研究授業「感想を育てる」
615	42	読む楽しみ6	
616	43	読む楽しみ7	
617	44	読む楽しみ8	
618	45	生徒会誌をよむ	

621	46		研究仕上げ	11 読書日記指示・掲示	
622	47	※めあてにしたがって	平頭もり1		
623	48		平頭もり2		
624	49		テスト		
627	50		平頭もり3	12 答えの処理について	
628	51		作文1		
629	52	作文2			
630	53	作文3			
701	54		宮澤賢治1		
705	55		テスト	13 学習記録提出	
707	56		読書・放送		
708	57		作文		
711	58		夏休みの準備	14 夏休みの学習	
712	59		テスト評	(読書日記・題材集め等)	
713	60	読書③	1物語の朗読を聞き、読書日記を書く。 2夏休みの読書計画 3夏休みに読破するための「少し大きな本」の紹介	15 読書日記用紙配布	
715	61		1読書日記の発表 2古事記物語を聞き、読書日記を書く 3「夏休みの読書計画」について話し合い、質問や意見を書く。各自の計画の検討。 4「読んだ本・読んでいる本」の五行感想文に、てびきによって書き継ぐ。	7月15日研究授業	
902	62		スピ	一、おみやげ1お話 2しおり 二、一分間スピーチ(夏休み報告・夏休みの生活から…)	
905	63		スピーチ1-3		16 読書日記指示
906	64	チ	スピーチ4-6	(放送)ことばに関心を持つ 田宮虎彦「少女の声」 夏休み読書反省・二学期読書計画提出	
907	65	習字	習字1	17 二学期の読書計画	
909	66		習字2	(放送)話題をひろく	
913	67		習字2	シュバイツァー「黒人オイとムボの話」	
914	68		習字3		
916	69		テープで		
919	70		習字4	18 「読む楽しみ」について	
920	71		習字5	(放送)おおぜいの前で話す 葉紹鈞「かかし」	
921	72	習字6			
922	73	放送		19 読書の時間の指示	
926	74	読書④	次時の準備 1「夏休みの読書日記から」朗読によって発表。 2「夏休みの読書の反省」プリントによって話合う。 3「二学期の読書計画」によって発表しあう。 4めいめいの読書計画を見直し、仕上げる。	(放送)進んで質問する 芥川龍之介「芋粥」	
928	76		読む楽しみ1	9月27日 研究授業 「夏休みの読書日記から」	
929	77		放送		
930	78		読む楽しみ2		
1003	79		読む楽しさ2	20 読書についての古人のことば	
1004	80		読む楽しさ3	(放送)正確な報告	
1005	81		読む楽しさ4		
1006	82		読む楽しさ5		
1007	83		スピーチ・放送		
1011	84		貝の火	21 記録提出予告	
1012	85	※	コンチキ号1・筋をとりながら読む	(放送)川端康成「伊豆の踊り子」	
1013	86	読む	スピーチ・放送		
1017	87	楽しむ	スピーチ・放送 フランクリン自伝	22 作文の題材	
1018	88	楽しむ	コンチキ号2・内容の違いを確かに読み取る	(放送)感想発表 ルグロ「ファーブル伝」	
1019	89	楽しむ	コンチキ号3・表現の特色		
1020	90	楽しむ	コンチキ号4・発表		
1021	91		作文・題材のいろいろ		
1024	92	読書⑤	1「古事記物語」の「ヤタガラス」を聞いて書いた感想文に対して、感想、意見、疑問を書きあう。 書いたものをまわして、次々に書き添える。	23 記録整理予告	
1026	93		貝の火	(放送)ことばによるスケッチ 漱石「三四郎」	
1027	94		読書		10月28日研究授業
1028	95		1読書週間にちなみ、標語を作る。 2「貝の火」の感想のてびきによって、感想を書く。		
1031	96		記録まとめ	24 記録提出	
1101	97		コンチキ号まとめ・記録まとめ	(放送)語感の違い 犬養健「姉弟と新聞配達」	
1105	98		中間テスト		
1107	99		作文1	25 文集予告	
1108	100		作文2	(放送)文学鑑賞	

1109	101	スピーチ・放送		犬養健「姉弟と新聞配達」(2)
1110	102	テスト批評		
1111	103	復習		
1114	104	文芸・文芸の学習について		26 文芸進度調整
1115	105	文芸		(放送)文学鑑賞(2)
1116	106	文芸		トルストイ
1117	107	文芸		「人にはどれだけの土地があるか」
1118	108	文芸		
1121	109	放送・文芸		27 文芸仕上げ予告
1122	110	文芸		(放送)校内放送
1124	111	文芸		上田秋成「夢応の鯉魚」
1125	112	文芸		
1128	113	ことばの意味と用法1		28 文芸紹介
1129	114	ことばの意味と用法2		(放送)校内放送(2)
1130	115	ことばの意味と用法3		ロマン・ロラン「ピエールとリューマ」
1201	116	読書⑥	1「週刊読書人」で読書新聞のあらましを知る。 2必要に迫られてまた、なにか調べるためにする読書の面について考える。 3目次・索引の活用のしかたを考える。 4プリントによって、目次・索引の実際を見る。	12月2日 研究授業
1202	117	読書⑥	1読書についてのいろいろの問題についての考えを、目次や索引を使って探してみる。 2「週刊読書人」を見て、読みたい本を探し「私の読みたい本」に記入する。 3「週刊読書人」の必要なところを切り抜き、処理してみ	
1205	118	テスト		29 文芸編集委員
1208	119	文芸よむ		(放送)電話
1210	120	読書⑥	1索引の利用の練習	戸川幸夫「北へ帰る」
1212	121	読書		30 記録提出予告
1213	122	テスト批評		(放送)あいさつ
1214	123	読書		林美美子「風琴と魚の町」
1215	124	記録まとめ		
1216	125	習字		31 読書記録用紙
1219	126	習字2		(放送)楽しいお話し会
1220	127	放送	1ノートのとり方の練習	オー・ヘンリー「おまわりと賛美歌」
1221	128	習字3		
110	129	※経験発表(教科書で研究)		32 三学期の予定
111	130	※経験発表(教科書で研究)		
113	131	※書取・放送		
116	132	※経験発表(話のメモ作り)		33 読書日記・五行日記予告
117	133	※作文		(放送)ことばの抑揚
118	134	※昔の物語1		ルメートル「鐘」
119	135	※昔の物語2		
120	136	※読書ノート、本格的な読書記録について学ぶ。		
137欠				
123	138	読書⑦	1読んだ本・読んでいる本についての五行感想に、てびきによって書き加える。 2「詩について知りたいこと」を書く。目次・索引の利用の学習の資料とする。	34 題と話し出し
124	139	読書⑦	1まとめた「詩についての質問集」の答はどの本によって得られるか、目次やはしがきを利用して、見当をつける。 2「週刊読書人」の切り抜きをする。	(放送)劇のことば(2)
125	140	昔の物語3		猪谷六合雄「雪に生きる」
126	141	1まとめた「詩についての質問集」の答はどの本によって得られるか、目次やはしがきを利用して、見当をつける。 2「週刊読書人」の切り抜きをする。		1月26日 研究授業
127	142	前時の続き		
130	143	昔の物語4		
131	144	スピーチ1		35 スピーチ(評価の観点)
201	145	スピーチ2		(放送)共通語と方言
202	146	放送・書取テスト		井伏鱒二「塵根の上のサワン」
203	147	文芸1		
206	148	作文1(教科書中心学習)		36 文芸作成計画
207	149	作文2(自分の計画で)		(放送)共通語と方言
208	150	作文3(自分の計画で)		曾野綾子「海の御墓」
209	151	作文4(自分の計画で)		
210	152	作文5(自分の計画で)		
213	153	作文6(個人文芸提出)		37 文芸(仕上げ方)
214	154	五行感想・語句1(短文作り)		(放送)共通語と方言
215	155	語句1B		サン・テグジュベリ「夜間飛行」

216	156	五行感想・語句3(グループ研究)	
217	157	語句(グループ研究)	
220	158	語句(グループ研究)	
221	159	読「週刊読書人」によって読みたい本を探す。 書2 読ませたい本を一人に一冊ずつ選んで与えた。	38 図書紹介 (放送)新語・流行語 吉野源三郎「君たちはどう生きるか」
222	160	語③本の紹介。続き	
223	161	語句(発表練習)	
224	162	語句(発表練習)	
227	163	語句(発表1・2)	
228	164	語句(発表3・4)	39 記録提出予告 (放送)敬語 井上靖「あすなる物語」
301	165	語句(発表5・6)	
303	166	学年末テスト	
306	166	読 読書生活の記録から、本の紹介 書 私の読みたい本・このごろ読んだ本、発表	40 朗読会予告 41 文集「芽ぐむ」の完成・学習記録指示
308	167	語句(7・8)	
309	168	テスト批評	
310	169	朗読のしかた	
313	170	朗読のしかた	
314	171	朗読練習	
315	172	朗読練習	
316	173	朗読練習	
317	174	朗読会	
322	175	朗読会	
324	176	朗読会	
67年度2年E組 学習内容			通信・その他
408	1	一、学習目標発表「今年こそ、こんなふうにしたー私の決心」	42 一学期の予定 (放送)二年生のことばと生活 ケストナー 「わたしが子どもだったころ」
410	2	一、教科書第一単元「心に残ることば」を読む 二、発表「心に残っていることば」	
411	3	一、テープで自習(文法・品詞)	
412	4	一、書き取りテスト 二、「ある日の学級会議」を読む	
414	5	「ある日の学級会議」の研究 「ある日の学級会議」の研究	
415	6	一、発言の聞き分け方。 二、発言のしかた、まとめ方	
418	7	一、提出物について 二、「口語文法」の使い方 三、「ある日の学級会議」の研究	43 学習記録 (放送)自信をもって話す ケストナー 「わたしが子どもだったころ」
419	8	一、「ある日の学級会議」の研究	
420	9	一、「ある日の学級会議」の研究 発言のいろいろ	
421	10	一、放送を聞く	
422	11	一、会議についての研究	
424	12	一、会議実習準備(参加者、議長、提案者、原案作成委員、書記、会場係等になったら)	44 学習習慣についての評価 (放送)聞き手を考えて 壺井栄「大根の葉」
425	13	一、会議実習1 議題 クラブは一つ入る方がいいか、多く入る方がいいか	
427	14	一、読書新聞を見る。「私の読みたい本」 二、読書調査を見る。 三、今年度の読書の時間 予定	4月28日 研究授業 …目的に合ったノート
428	15	一、読書に関する調査をみて 二、「大根の葉」を聞く前に 三、目的に合ったノートをとろう	
501	16	一、会議の実習2 議題 学級新聞発刊にあたって	
502	17	一、書取テスト 二、放送	45 作文の題材 (放送)積極的に聞く ポー「うずまき」
506	18	一、放送 二、ゲーム	
508	19	一、決心のゆくえは(学習記録・きょうの感想・プリント・読書・発言・書き取り) 二、作文1題材を豊かに	46 学習報告の書き方についての注意 (放送)話の聞き分け方 芥川龍之介「羅生門」
509	20	一、前進のために(「決心のゆくえ」による) 二、作文2作文の学習の進め方(書く・読み合う・まとめ)	
511	21	一、作文3作文を書く	
513	22	一、放送	
515	23	一、作文4作文を書く	47 作文を読み合う (放送)意見の尊重 国木田独歩「春の鳥」
516	24	一、作文5作文を読み合う	
518	25	一、どの本が自分の問題に答えてくれるだろうか。 「明治百年」にちなんで 1 近代日本はどのようにして生まれてきたか。 2 一般の人々の反応	5月19日 研究授業

519	26	書	一、「週間読書人」を読む 二、この本を読みませんか ⑩ 三、どの本が問題に答えてくれるか	
520	27		二、放送を聞く 意見の尊重・うずまき	
522	28		一、どの本が適しているか	48読書感想文・課題図書 (放送)会識・討議(1)
523	29		作文6友だちの意見をまとめて自分の作文の反省をする	フィリップ「小さき町にて」
526	30	テスト		
529	31		一、「ふるさと」の山を読む	49 作文 (放送)会識・討議(2) 堀辰雄「妻への手紙」
531	32		一、談話 要旨 二、発表 「私の好きな歌」	
601	33		二、「屋根の上のサワン」1	
602	34		一、「屋根の上のサワン」2味わう	
603	35	※	テスト評	
605	36	心	一、「屋根の上のサワン」を味わう 仕上げで提出	50 朗読単元の進め方 (放送)司会のしかた ゴゴリ「鼻」
606	37	情	一、放送	
608	38	を	一、「洪ちゃん」朗読	
609	39	味	一、「洪ちゃん」を味わう グループの話し合い	
610	40	わ	一、書き取り・読みテスト 二、放送 妻への手紙	
612	41		二、「ふたたび決心のゆくえ」	51 学習記録提出予告 (放送)司会のしかた 太宰治「富嶽百景」
613	42		一、発表 洪ちゃん(第二・第三・第四・第八グループ)	
615	43		一、「洪ちゃん」発表(第六・十・七・一・八・九・三・四グループ)	
	44		二、「屋根の上のサワン」まとめ 記録まとめ	
617	45		一、学習記録・目次の作り方について 二、採点票について 三、各自でまとめる	
619	46		一、「伝記パール・バック」を読む	52 学習記録提出指示 (放送)正しい発音 マルタン・デュ・ガール 「チボ一家のジャック」
620	47	伝	二、学習記録の提出 三、「パール・バック」を読む(なぜこういう文章を書いたの だろうか、なぜこの文章がこのような形で書かれたか)	
622	48	記	一、記録の調べ 二、練習(漢字の読み・語句探し) 三、話を聞いて、筋を書く 四、「パール・バック」の伝記を書いた動機を考える	
623	49		一、読んだ本、読んでいる本の五行感想を書く 二、作文の学習	
624	50	作	一、ともだちの作文に学ぶ	
627	51	文	一、「手にあまる題材にせいっぱい取り組んだ作文」に学ぶ 二、ことばの問題をとりあげた五編・構想のいろいろ	53 学習記録評価 (放送)朗読 マルタン・デュ・ガール 「チボ一家のジャック」
628	52	読	一、読書をすることの意味(よさ、楽しさ) 二、「読書について」を読む	
629	53	書	一、「読書について」の学習のねらい 二、「読書について」を読む	6月30日 研究授業
630	54	⑪	一、この本読みませんか(スピーチ) 二、読書日記から 三、本で本を読む	
705	55	期末テスト		
706	56		一、「ひとりともしびのもとに」徒然草十三段 二、放送を聞く	
707	57		一、夏休みの読書計画のために 二、パール・バックの書き出しと構想から考える筆者の意	
708	58	読	二、もっと図書室の本を知ろう 読書の範囲を広くしよう	
711	59	書	一、本の紹介 図書室の予定 二、記録のまとめ 三、放送を聞く	54 夏休みの読書 (放送)朗読(3) コナン・ドイル「シャーロックホームズ の冒険」
712	60	⑫	一、テスト評	
	61		二、「読書の楽しみ」を読む	7月14日 研究授業 「いろいろの本の活用」
714	62		一、ともだちはどんな本を読む計画だろう 二、本で本を読む	
718	63		一、夏休みの学習準備	55 夏休みの学習
902	64	習	一、宿題の提出	
	65	字	二、習字1形を整えて、正しく書こう	
905	65		二、習字2形を整え、位置を考えて詩を書く	56 二学期の予定 (放送)ことばとわたし モーパッサン「くびかざり」
906	66		一、習字3行書体で都道府県名を書く	
908	67		一、練習「明るく、いきいきと話す」 二、話題を求めて「新聞の記事」を読む	
912	68		一、話題を求めて「新聞の記事」を内容をまとめながら読む	57 「私の決心」から

913	69	一、話題を求めて2「若戸大橋」を読み話題を拾う 二、お話	(放送) 根拠に基づいて話す 上田秋成「菊花のちぎり」(両月物語)
914	70	※ 一、書き取り 二、話題を求めて3 私の拾った話題「若戸大橋」のスクラップから・新聞から	
918	71	一、インタビュー準備 参考「山を語る」(どんなことを尋ねるか・順序・プリント)	58インタビューの実演 (放送) 整った報告 ガルシン「熊」
919	72	インタビュー計画案検討	
920	73	インタビューたずね方	
921	74	一、文法(テープで自習)	
922	75	一、文法(テープで自習)	
925	76	一、インタビュー 実習 二、インタビューを聞いて感想を述べ合う	59題材集め週間・作文 (放送) 説明のしかた 室生犀星「幼年時代」
926	77	一、インタビュー 実習 二、インタビューを聞いて感想を述べ合う	
927	78	一、作文(感想や意見)学習の進め方 二、題材の発表	
928	79	一、題材の発表(続き) 二、読書感想文の発表	
929	80	一、ペン習字・ひらがなの練習 二、ペン字で形を整えて文章を書く	
1002	81	二、作文	60図書館 (放送) 説明のしかた 書迅「阿Q正伝」
1003	82	一、作文	
1004	83	一、作文を読みあう	
1005	84	一、友だちの心にうつつた自分の作品 二、五行感想	
1006	85	一、もう少し書き加えようー五行感想 二、放送を聞く 三、読書 一つの問題をめぐって・環境	
1009	86 87	一、発表の準備 てびきによってプリントの原稿を書く 二、ホワイトミリアに書く 三、伝記の続きを読む	61 決心のゆくえ (放送) 意見の発表 書迅「阿Q正伝」(2)
1011	88	一、「環境」について読み比べる(百科事典より) 二、発表の準備 三、読書生活の記録	10月12日 研究授業 「問題解決のための読書」
1012	89	一、この本読みませんか おもしろくて(励まされる・考えさせられる・慰められる)本 二、環境は人をつくるものか/環境は人を変えるものか	
1016	90	読書	62 読書生活通信発刊 読書生活の記録指示
1017	91	読書	(放送) 語句をゆたかに 三島由紀夫「孔雀」
1018	92	作文	①読書ノート
1019	93	作文	
1020	94 95	一、「私のまえがき」発表 二、読書生活の記録を使ってみる 一、作文Bを書く	
1021	96	一、放送を聞く	
1023	97	テスト	63 (放送) ものの言いよう バルザック「知られざる傑作」
1026	98	一、「古典に親しむ」学習の進め方 二、「蘭学事始」を読む1	
1027	99	一、「蘭学事始」を読む 玄白に学ぶこと	
1031	100	一、読書生活の評価 二、「蘭学事始」を読む 玄白らの研究方法は	64 読書週間 (放送) 話を味わう 井伏鱒二「乗合自動車」
1101	101	二、テスト評	
1102	102	一、学習記録のまとめ	
1106	103	蘭学事始・よむ・話し合い	65 学習記録提出指示 (放送) 共通語と方言
1107	104	蘭学事始・発表	
1113	105	蘭学事始・まとめ	66 読書 (放送) 共通語と方言 ロマン・ロラン「ジャン・クリストフ」
1114	106	一、朗読「那須与一」 二、この文章が古来愛されたのはなぜだろう	
1115	107	二、読書(書くために読む)	③
1116	108	一、読書(書くために読む) 東京百年の記念作文に備えて	11月17日研究授業 「書くために読む」
1117	109	読書	
1120	110	読書	67 文集「芽ぐむ」2号 (放送) 校内放送 ロマン・ロラン 「ジャン・クリストフ」(2)
1121	111	④ 一、「目的と必要」をもって 読んだ本の処理をどのようにするか 二、「私の読書履歴」を読む	

1124	112 113	触	一、「徒然草」を読む 1 通読 2一語一語を確かめながら 3内容整理	
1127	114	れ	一、テストについて 二、自習の用意 三、「徒然草」を読む2	68 自習の手引き (放送) 敬語 井上靖「楼蘭」
1128	115	る	テープ1	
1129	116		テープ2	
1130	117		テープ3	
1204	118		徒然草3 一、「木のぼり」に似た話 二、「馬のり」の教訓 三、「堀池の僧正」の結びの文	
1205	119		徒然草4 一、「馬のり」の教訓 二、「堀池の僧正」の結び	
1206	120		徒然草 一、「馬のり」の趣旨 二、「堀池の僧正」をこう結ぶ・ことばの比較	
1207	121		テスト	
1211	122		徒然草	69 読書・古典 (放送) 質問と応答
1212	123		徒然草	梶井基次郎「城のある町にて」 (紹介) 徳島県昔話「山父の悟り」
1213	124	放送		
1214	125	記録まとめ		
1215	126	テスト評		
1218	127		読書	70 学習記録提出指示 (放送) 楽しい会話
1219	128		民話の資料を読む	アンデルセン「自伝」
1220	129	読書 ⑮	一、目録の利用 二、民話をシートで聞く。	
1221	130		一 本の紹介。 二 民話を聞く。 三 民話劇を書いている木下氏は、宇野重吉語り聞かせ「日本の民話」についてどう考えたと思うか、発表し合う。	1月30日 研究授業「本で本を読む」 「本へのいろいろの親しみ方」
109	131		作文1 クラスだより・組作文	71 読書生活の記録指示 (放送) 声の表情
110	132		作文2 「芽ぐむ」で意見文学習	チエホフ「シベリアの旅」
111	133	作	作文3 意見文書く	
112	134		作文4・意見文を書き合う	
116	135	文	作文1 構成を考えて(教科書)	72 (放送) 劇のことば
117	136		作文2 書く	中島敦「名人伝」
118	137		作文3 書く	
119	138		放送・読書 読書生活の記録	⑤
122	139		一、読書会のいろいろ 二、私たちの読書会 三、読書生活の記録を整える	73 (紹介) 詩 福士幸次郎・武者小路実篤 (放送) 劇のことば(2)
123	140	読	読書	森鷗外「護持院ヶ原の敵討」
124	141	書	読書 読書会	
125	142 143		一、第一回読書会(司会 大村)あすなる物語を読む	1月26日 研究授業 読書会A
126	144	⑮	一 詩集二冊紹介 二、読書会(司会 大村)あすなる物語	
129	145		一、読書会(司会 大村)あすなる物語	74 (放送) 文学鑑賞
131	146		一、読書会(司会 大村)フランダースの犬について	カミュ「誤解」
201	147		一、読書会(司会 大村)このあとの進め方	
202	148	放送		
149-152	149	※	要旨・漢詩の表現	75(放送) 文学鑑賞(2)
209	153	放送		谷崎潤一郎「母を恋ふる記」
212	154	要旨	要旨発表・漢詩の表現	76「返事」 (放送) 文学の鑑賞(3)
213	155		読書(読書会日)	メリメ「マテオ・フォルコーネ」
214	156		一、鮎太をとりまいている人々 (どういう人・鮎太に及ぼした影響)	⑥
215	157	読	一、鮎太をめぐる人々 読書会(B)の進め方	
217	158	書	一、話し合いの練習 二、話し合いの準備	
219	159		読書	77(放送) 改まったあいさつ
220	160	⑮	読書	安岡章太郎「海辺の光景」
223	161		ことわざ・漢字	2月19日 研究授業 読書会A/B
226	162		パネル2	78 読書感想文集
227	163		まとめ	(放送) 話しことばの特色
228	164		感想文集	カフカ「変身」
229	165	ことわざ		
301	166	放送		
306	167	テスト		79 学習記録提出指示

308	168	学習記録まとめ	(放送)話しことばの特色(2)
311	169	作文	80
312	170	劇	(放送)ことばのうづりかわり
313	171	テスト評	マン「トニオ・クレーゲル」
314	172	読書 読書まとめ	(紹介)春暁
315	173	読書 感想文集	3月16日研究授業「読書生活記録」
316	174	⑩ 読書記録を読み合う	
68年度3年E組			学習内容
410	1	私の目標	通信・その他
411	2	ことばのきまり1	81「美しい話し方」
413	3	ことばのきまり2	(放送)三年生のことばと生活
416	4	段落のつながり・文の組み立て	漱石「坊ちゃん」
417	5	文末表現	82
418	6	単語のいろいろ	(放送)まとめて話す
419	7	指示語のはたらき	漱石「坊ちゃん」(2)
420	8	放送・スピーチ	⑧
423	9	単語のいろいろ	83 通信の活用
424	10	助詞・助動詞	(放送)時間を考えて
425	11	助詞・助動詞2	シュトルム「別離」
426	12	読一、読書生活の記録 計画と準備	
427	13	書 放送・読書	
501	13	助詞・助動詞	84読書生活の記録
502	14	語句の意味と用法	(放送)意見の主張
506	15	悪文のいろいろ	志賀直哉「清兵衛と瓢箪」
507	16	文体の観察	⑨
508	17	一、「読書論」を読む 天野貞祐・梅棹忠夫・加藤周一	85読書生活記録チェック予告
509	19	一、読書論を読んで・練き・仕上げ	(放送)根拠を考えて聞く
510	20	一、栗栖良夫「くろ助」紹介 二、「読書論」を読んで ある意見・その批判	シヨロホフ「こ馬」
514	21	一、「読書論」を読んで意見を言い合う	5月10日研究授業「読書論」
515	22	テスト	86見学とメモ
518	23	旅行のために	(放送)真実を聞き取る
527	24	ことばと生活①計画②「対話の精神」	国木田独歩「武蔵野」
528	25	ことばと生活③「会議のはじまり」	87読書 記録
529	26	テスト評	(放送)会議・討議
530	27		ピョルンソン「アルネ」(1)
28欠 ※ 放送・作文			
603	29	ことばと生活④自由討議の準備	88(紹介)藤原定・村野四郎、詩
604	30	ことばと生活⑤自由討議の準備	(放送)会議・討議
605	31	ことばと生活⑥自由討議	ピョルンソン「アルネ」(2)
606	32	ことばと生活⑦パネルディスカッションの準備	
607	33	放送・作文	
610	34	ことばと生活⑧パネルディスカッション	89(紹介)有島武郎
611	35	一、六月の読書のめあて・方法 二、放送「福翁自伝」を聞く	(放送)司会のしかた
612	36	読書 一、自伝を中心にして	島崎藤村「藤村詩集」
613	37	自伝にあることがほかの本にはこのように書かれている	6月14日研究授業「批判的に読む」
614	38	読書 一、どの本が自伝の趣をより多く伝えているだろうか	「主体的に読む」
617	39	読書 一、自伝の趣を、よく伝えているところ ／伝えていないところ	90作文題材集め
618	40	ことばと生活⑩一、バズセッションの準備	(放送)司会のしかた
619	41	テスト	田宮虎彦「絵本」
620	42	ことばと生活⑩バズセッション	
621	43	ことばと生活⑩シンポジウム準備	
44-48欠			
701	49	敬語1(テープ学習)	91学習記録提出指示
702	50	敬語2	(放送)朗読(1)
705	51	テスト	松本清張「或る『小倉日記』伝」
708	52	読書 一、「私の読書法」を読む いろいろの立場で	92学習記録提出指示
709	53	読書 一、「私の読書法」を読んで・の立場から考えること	(放送)朗読
710	54	学習記録の提出 一 テスト評	エルゾーグ「アンナプルナ登頂」
711	55	二、「私の読書法」を読んで・発表会の準備 一、「私の読書法」を読んで それぞれの立場から	7月12日研究授業「批判的に読む」
			「問題に対して」

712	56	読書	一、紹介 こんなことを知りたいと思いませんか 二、「私の読書法」を読んで 内容の紹介 いろいろの立場からの発見 三、八種類の立場の文章について、共鳴、小さな発見、 反発や疑問を感じたところについて発表し合う。		
716	57	②	一、本の紹介 二、E組でし残したこと二つ(批判力のために・作文) 三、「私の読書法」を読んで		
717	58		一、読書生活の記録のこと 二、読書感想文のこと 三、夏休みの学習について		
903	59		一、学習の能率をあげるために 二、語句(学習の進め方)		
904	60	語句の意味と用法	一、放送「ことばとわたし」を聞く 二、語句(プリントを書く)	93読書生活の記録提出指示 (放送)ことばとわたし 「万葉集」より	
906	61		一、語句(ことばを調べよう、身につけよう)		
910	62		一、語句(語句の意味と用法)	94語句のプリント (放送)校内放送	
913	63		一、語句(発表)語句の意味と用法	魯迅「故郷」	
917	64		一、語句(発表をもとにして研究)		
918	65		一、テスト 二、発表(語句の意味と用法)	95「作文の題材」から (放送)整った説明 ドラ・ド・ヨング「あらしのあと」(1)	
919	66		一、語句(発表) 二、放送を聞く(整った説明) 三、作文 組み立てと書き出し		
920	67	読書			
924	68	※ 教養を高める	一、教養と話題(進め方と準備)	96 あたりまえのことを確実に (放送)研究発表 ドラ・ド・ヨング「あらしのあと」(2)	
925	69		一、実力テスト		
926	70		一、ことばの発表 二、「正岡子規」をよむ 教養と話題2		
927	71		一、発表 二、正岡子規の偉大さ		
930	72		一、発表 二、記録の書き方 三、自分の予定ですすめる・正岡子規の偉大さ		
1002	73		一、発表 二、自分の予定ですすめる 正岡子規の偉大さ		
1003	74		一、自分の予定で 二、作文練習(三年生とクラブ活動・生活とユーモア)		
1008	76	一、仕上げて提出(一人7編)	98 (放送)文学鑑賞 ゴッホ「ゴッホの手紙」		
1009	77	一、放送を聞く「キューボラ」 二、宇野重吉語り聞かせ(斎藤隆介3作品)			
1011	78	Ⅲ 一、発表1 正岡子規の偉大さ(今井) 山崎さんに見られる研究精神(芹沢)、他11人			
1014	79	一、発表2 みかんと自分(深水) 朝食ぬき(金子)他8人	99作文六編 (放送)ことばの意味と用法 永井龍男「黒いごはん」		
1015	80	一、発表3 山崎にみる研究の精神(杉山) クララシューマンの努力(吉本)他12人			
1016	81	一、発表4 一つの意見(土屋) 二、復習(語句について) 三、テストについて			
1018	82	テスト			
1021	83	②	一、復習(ことばのきまり) 二、単元「古典に学ぶ」	100 (放送)ことばの意味と用法 ヘッセ「車輪の下」	
1023	84		一、古典1(「古典に学ぶ」をよむ)		
1024	85		一、学習の進め方 二、夏草を読む		
1028	86		テスト評		
1029	87		読書1		101「若い人の読書について」 (放送)さまざまなことば
1030	88		読書2		野上弥生子「哀しき少年」
1031	89		読書3		11月1日研究授業「読書論」
1101	90	読書4			
1104	91	読書	102「青少年と読書の習慣」 (放送)敬語(1)		
1105	92	読書			
1106	93	※	一、ある統計を見て・わたしはどこにいるか 二、「奥の細道」の冒頭を読んで	モーパッサン「ジュールおじさん」	
1107	94		一、暗誦「奥の細道」 二、「奥の細道」の冒頭を考える		

1108	95	古典 に 学 ぶ	一、暗誦 二、「夏草」を読む 三、俳句を味わう	
1112	96		一、テスト 漢字の読み書き 二、放送(「語句の意味と使い方」)	103 (放送) 敬語 ゴーゴリ「検察官」
1113	97		一、暗誦 二、「奥の細道」の俳句の情景と味わい	
1114	98		一、「豊旗雲」を読む 二、俳句や短歌の味わいをリズムに生かして口語詩を作る	
1115	99		一、「豊旗雲」を読む 二、俳句の味わいをリズムに生かした口語詩	
1118	100		一、「日本の美の伝統」より「枕草子」を読む	104
1119	101		古典(発表「一」という俳句を次のような口語詩にしてみました)	(放送) 面接と応対 ゴーリキー「検察官」(2)
1120	102			
1121	103		一、復習1(敬語の種類と使い方)	
1122	104		一、復習2(文の成分)	
1122	105	一、復習3(付属語)		
1125	106	一、「日本の美の伝統」から「枕草子」など古典を読む	105学習記録提出指示	
1126	107	実力テスト	(放送) 面接と応対 ルイ・エモン「白き処女地」(1)	
1127	108	「日本の美の伝統」2 一、暗誦と朗読(枕草子冒頭)、 二、源氏物語の一節を読む 三、「日本の美の伝統」を読み取る		
1128	109	実力テスト		
1129	110	伝統3 論語自習		
1202	111	テストについて 一、「日本の美の伝統」を読む・要旨をまとめる	106学習記録提出補足 (放送) 日本語の特色(1) ルイ・エモン「白き処女地」(2)	
1203	112	読 書 ② ③	読書1	
1204	113		読書2	
1205	114		テスト	
1209	115		読書「よい本」を読む	107
1210	116		読書 ヘンリー・ミラー「わが読書」に、今まで読んできた読書論と違うところ、新しく加えられる考えを見つけ	(放送) 日本語の特色(2) 西鶴「長刀はむかしの鞘」
1211	117		読書 続き	
1212	118		テスト評	12月13日研究授業「読書論」
1213	119		読書 前時の発表	
120-130欠				
120	131	※ 故 郷	近代文学	108
121	132			(放送)
122	133		故郷	ワイルダー「長い冬」
123	134			
124	135			
136-140欠				
203	141	古 典	復習	109 復習指示
204	142			(放送)
205	143			井上靖「天平の甍」1
206	144			
207	145			
146-152欠				
228	153		「文章教室」を読む	
305	154			
306	155		スライド 近代文学総論	
307	156			
308	157		読書 近代読者論	
309	158			
315	159		文集「芽ぐむ」	